

て、そこにふんどし一本の若者が飛び乗りあつという間に押し流されるのを見せられた。田中康夫知事が出てきた。話しの内容は居眠りをしていたのであまりおぼえていないが最後の一言が印象的でした。「収穫と祭り」は一諸といつこ

るといつ話しを聞きました。私の店でも、中国製の雑貨がいっぱい並べてあります。とても安い、デザインもよい。売れています。こんな話しを聞く

ていく行動的な図書館長さんだ。こんな人、仙台にいないかナ。

が多かっただけに、絵もかく幸五郎にとってはとても参考になった。私も創作意欲が湧いて来た。ところで今日はスケッチブックを長野駅に忘れて来たので描けないのが残念だ。絵を見終わって一階へ降りた。庭に池があり窓の向こうに善光寺の森が見えた。とても心がなごんだ。借景のつくりである。さすが長野は教育日本一の県であると思いました。

う考え方がありました。一生懸命に眠気をさましながら聞いていたが私なりの解釈では、例えば、幸五郎のやっている「雪かき」ですが、住民は

少年野球が東京ドームで試合をしたといいたした。八月、

善光寺は町の北のてっぺんに鎮座している。そこに向かつてなだらかな坂が、くぐら

んだ。宇都宮に帰る女性に幸五郎新聞を渡して仲良しになった。

私なりに解釈しました。「人の体温が感じられる地域、そして人が人のお世話すること、

をいいたい。八月、

に鎮座している。そこに向かつてなだらかな坂が、くぐら

んだ。宇都宮に帰る女性に幸五郎新聞を渡して仲良しになった。

二十一世型の雇用が生まれる「政府や地方行政に頼る前に住民自身が協同でまちおこ

五十五万で借りられた。88名で行って来た。ものは云って見る

あわなかつたので昔ながらのお店が多い。おみやげや、す

なつた。

しと仕事おこしをする姿勢が

もつた。この費用は畑で丸な

でに開いていた。着物を着て

い旅を終えて、仙台に着いた。

もとめられる、それが「モン

すをつくって捻出したという。

草履をはいて幸五郎はスタスタと歩きとおしてやっと善光

女房と娘がにこにこ笑って迎

ズ」の思想と幸五郎居眠りしつ

つ聞きました。さすが文学者

寺についた。古く大きく丁度

えに来ていた。我が家は必ず

らしい表現でした。田中康夫

る制度が出来た。新しい公共

朝のおつとめの最中でした。

駅に迎えに来ることをならわ

知事を始めて見ましたが浅野

が民間が動かす時代が来た。

信仰する、しないは別として、

しにしている。三人で仙台ホテ

史郎知事と比べて見ると、オ

た(仙台でもはじまりました。

信州の長野に来て、善光寺に

だ。私は、旅の報告、女房は今

ダタナイ人、意外でした。ステ

大きいわらじにつくった

りには心のこりだ。善光寺の隣

した。いいデートでした。

ージに入って来た時と退場す

る時に、えらぶらず丁寧

にひよいと見たら東山魁夷の

た車で名取ヶ丘に向かいまし

る時は、えらぶらず丁寧

新しいイベントとした二足の大

か、彼は長野市に九百点の絵

た。高齢者協同組合理事の遠

頭を下げていたのは、私にとつ

きいわらじ(千代)に二歳のこ

を寄贈した。朝早いので開館

た。高齡者協同組合理事の遠

ては感動でした。きっと育ちが

どもと一〇二才のおじいさん

していなかった。どうしても見

た。高齡者協同組合理事の遠

いいと私は見ました。

を乗せて村中、練り歩いた。

たいので午後二時半、分科会

た。高齡者協同組合理事の遠

寺島実郎さんの話

お寺のお坊さんが図書館長

善光寺と東山魁夷美術館

幸五郎ぼけてきました

日曜日の朝のテレビでおな

飯田市の滝本さんはお坊さ

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

じみの寺島さんの話しを聞き

ん自ら紙芝居の実演をする。

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

ました。今、日本を取り巻いて

赤瀬川さんの「路上観察の本」

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

いる「上海」「香港」「台湾」「シン

をそのまま実行して自分が力

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

ガポール」が経済を動かしてい

メヲをもって町内の変わった

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

る。中国がいま7000KMに

看板をとってきてスライドにつ

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

およぶ長い高速道路をつくっ

くったり、自ら市民の中に入っ

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

ている。中国に注目しつつ脱

は無かつたがスケッチ風の習作

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

アメリカの時代になって来てい

は無かつたがスケッチ風の習作

朝五時半 目が覚めた。する

八時、宣伝カーのラッパの付

有るものキメテかかって岩沼
に向かう県道に沿ってキョロキョロ

した。行けど行けど見えませ
ん。そのうち岩沼市に入っ
てしまいました。戻って来て「コ
ビのねいちゃんに聞いたら、バ
イパスの方に近い」と言う。地図
を売っていたので「ロー」してく
れと云ったら断られました。

当たり前だね。俺も頭がオカ
シイ。少し走ったら、交番があ
った、「ここら間違ひなく教え
てもらえると思ったが、オレモ
オレいかげんに聞いて又走り
出した。今度は名取高専、ガ
ンセンターの方に迷いこんだ。

この先行き止まりだった。又、
バイパスに戻って出直して、
野球場のところに入り込んだ。
滅多に来た事が無いので野球
場を見学した。時計を見たら、
もうすでに二時間もかかって
いる。今日はもういいやと野

球場を出たら、何と向側が名
取ヶ丘の入り口だった。ああ
やつと着いたと当日のイベント
のチラシを見たら伊藤園の向
いという入り口をはいったす
ぐのところ伊藤園があるで
はあるませんか。

やつと着きホットした。だが
ちよつと様子がおかしい、誰も
人がいないではありませんか、
もう一度チラシを見たらなん
と、昨日の日付けになっていた。
つまり終ってしまったのであ
った。でも、せつかく来たのだか
ら、遠藤さんと大きい声をか
けたら「ニコニコ」笑って出て来て
くれました。お茶とケーキで

お茶のみをしました。昨日の
残りのゴンボをいたたいて帰
路についた。店に戻ったのは十
時半、二ついつのを仙台弁で

「しんごはこた」といいます。

幸五郎ぼけてしまったの
かも知れませんか

さて翌朝、朝五時起床、部
屋を見渡したらえびすで頂
いた、ご祝儀の入った錢袋が
見当たらない。早朝だったが、
車で事務所に行つて探したが
ないのである。なんかいや
な予感がした。自宅でお金勘
定して、決算書を作るつもり
で持ち帰ったはずである。そ
れが無いのである。縁側に行
たら力ギを掛け忘れて開いて
いる。これは絶対空巣にやら
れた。万事窮す。ホマツで弁
償する覚悟をきめて店に出勤
した。なんと女房が事務所に
ありますよと件の錢袋を差し
出した。今朝グルグルまわつて
見たのに、見つからないでしま
ったので、ここに持って来た記
憶はサラサラない。ああヤレ
ヤレおれもボケてしまったな
ーと溜息が出てしまった。

十二月十三日「最期の同期
会」と称して高校時代の同級生
の集まりで元市立病院の浅野
先生にボケにならない講義を
聴いたばかりである。物忘れ
とボケは違つとはいわれまし
たが二日も続けて大チョンボ
した幸五郎はボケの予備軍で
ある事はまちがいない。ガン
も怖いボケもはた迷惑であ
る。

年賀状五百枚出しま
したが、出せなかった
方へ年賀状の変わり
のつもりです。

幸五郎の新聞愛読者の
皆様へ出雲幸五郎
いつも新聞をよんでいただ
き、ありがとございます。
今から九年前、まご帆乃花
が誕生したことをきっかけに
身辺雑記のつもりで書きはじ

めましたが、どうにも止まら
なくなり武千五年四月で満十
年になります。昔のものを読
み返して見ると、とてもおも
しろく自分からいつてはおし
まい最近のものを含めて良く
書くものと我乍らあきれてい
ます。どうやって書いているの
と聞かれますが、あまりかま
えず、お話しをしているよう
に、ときには、ズズズ弁だつ
たりしながら書きなぐってい
ます。この文のように原稿は
読みにくいのですが、女房の
榮子がパソコンで打って読ま
れる様に、変な言葉は勝手に直
して、それお娘のパソコンに入
力しなおして、体裁を整えて、
店にある印刷機械で、千部印
刷しますが、春と十一月の二
度五千部刷つて幸五郎が朝か
ら二時間、約二週間かけてボ
スティングしています。商店街
の理事長やめて、四年になり
ますが題材はことかくのでは
ないかと心配しましたが、そ
れなりに沢山あって今回のよ
うに二枚、しかも両面になり
ました。さて、今年一年を振
り返つてみますと、いろいろな
イベント企画しましたが、全部
成功したことは、自分自身で
もおどろいています。ひびき
愛コンサート、酒蔵コンサート
そして私をモデルにした生前
葬コンサート、星空コンサート、
えびす、十一月二十七日の
県と商店街共催のまちづくり
シンポジウム等皆様にいっぱ
い来ていただきました。それ
はそれで自己満足の世界でよ
かったのですが政治、経済、世
情と自分の店の経営も含めて
こんなひどい時代は戦中戦後
に匹敵するように感じていま
す。(陽来復)といつては
あります。悪い事の次には必
ずいい事が来るといわれてい

ます。悪い事にたえ乍ら新年
こそはいい年にしたいと期待し
ましよう。今私はくすり一つ
お世話になつていません。帆乃
花十歳、和佳奈八歳、航之助
六歳、海星三歳の元気に助け
られ、店頭で幸五郎新聞おも
しろかったよと云つて来るお
客さん、いい愛読者の皆さん
のご支援が生きがいです。十
一月にはテレビのレポートに
なつて幸五郎ファンが全国にも
ひろがってきました。皆さんの
私に寄せていただく暖かい心
の貯金通帳が日々ふくらんで
来ていること、ありがとござ
います。

キャッチコピー

- ・サンタクロースは
新幹線最終便でご到着
- ・11/27 荒町に何かがおこる
- ・ごろごろセール
- ・朝食はカレーだ
- ・日本で一番早い初売り